

基礎研 レター

米国・日本・欧州における外資系生命保険会社のプレゼンス

—日米欧間の生命保険会社の相互市場参入はどの程度進展した状況にあるのか—

取締役 保険研究部 研究理事 中村 亮一

TEL: (03)3512-1777 E-mail: nryoichi@nli-research.co.jp

1—はじめに

昨今、日本の生命保険会社による米国の生命保険会社買収のニュースが続いている。このレターでは、まずは焦点となっている米国の生命保険市場における外資系生命保険会社¹のプレゼンスがどうなっているのかを報告する。続いて、日本における同様の状況を、最後に、データ面での制約はあるが、ドイツを中心とする欧州における外資系生命保険会社のプレゼンスについて見ることで、日米欧間の生命保険会社の相互市場参入がどの程度進展した状況にあるのかについて報告する。

2—米国における外資系生命保険会社のプレゼンス

1 | 全体の状況

米国全体の生命保険会社及び外資系生命保険会社の会社数は、合併や買収等の影響により、1998年から2013年の15年間、ほぼ毎年減少してきているが、総資産は着実に増加してきている。その中で、外資系生命保険会社の構成比は、会社数及び総資産とも1990年代に大幅に増加した後ここ10年間はほぼ横ばいで推移している。

即ち、最近では市場の規模拡大に対応する形で業績を伸ばしてはいるが、米国国内の保険会社のシェアを大きく奪う形にはなっていない。市場の特性等を踏まえた上での独自のあるいは適正な戦略を立てていかないと、保険先進国の米国においては、外資系といえどもシェアを伸ばすのは容易ではない状況にある。

米国における外資系生命保険会社の状況(会社数)

	1998年	2003年	2013年	増加率	
				2003/1998	2013/2003
生命保険会社	1,444	1,123	850	-22.2%	-24.3%
外資系生命保険会社	113	120	95	6.2%	-20.8%
構成比	7.8%	10.7%	11.2%	—	—

※ ACLI(米国生命保険協会)の「Life Insurance Fact Book」による。

¹ ここで、外資系保険会社とは、株式の50%超が外国資本の会社を意味している。

なお、会社数でみた構成比は1割程度だが、総資産では2割程度ということから、外資系生命保険会社の平均資産規模は全体平均の2倍程度ということになる。米国の生命保険会社は州毎や事業種類毎に複数の保険会社を設立して事業展開していることもあり、平均資産規模を個別会社単位ではなくグループ単位で比較すれば、その差は小さくなる。また、外資系生命保険会社が米国生命保険会社を買収する場合には一定規模以上の会社を対象としていることも資産規模の格差形成に影響している。

なお、2013年度の平均資産規模は、米国全体の生命保険会社では4,074百万ドル、外資系生命保険会社では7,235百万ドルとなるが、これらはAM.Best社の資料によれば、全米のランキングにおいて、それぞれ120位及び80位程度に相当する規模である、と考えられる。

米国における外資系生命保険会社の状況(総資産)

(単位:百万ドル)

	1998年	2003年	2013年	増加率		年平均増加率	
				2003/1998	2013/2003	2003/1998	2013/2003
生命保険会社	2,826,520	3,886,699	6,150,300	37.5%	58.2%	6.6%	4.7%
外資系生命保険会社	407,876	838,560	1,337,085	105.6%	59.5%	15.5%	4.8%
構成比	14.4%	21.6%	21.7%	—	—	—	—

※ ACLI(米国生命保険協会)の「Life Insurance Fact Book」による。

2 | 親会社国別の状況

以上の状況を親会社国別に見てみると、会社数では、バミューダがキャプティブ設立の影響でここ10年間で大幅に増加しているが、オランダと英国は大きく減少している。

一方で、資産構成比では、ここ10年でカナダやオランダの構成比が若干低下しているが、英国、ドイツ、バミューダの構成比は上昇している。

米国における外資系生命保険会社の親会社国別分布(会社数)

親会社国	1998年	2003年	2013年	増加数	
				2003/1998	2013/2003
カナダ	27	25	23	-2	-2
オランダ	25	37	15	12	-22
スイス	14	12	15	-2	3
バミューダ	0	1	13	1	12
フランス	5	11	8	6	-3
英国	11	17	6	6	-11
ドイツ	8	6	6	-2	0
日本	3	3	5	0	2
その他	20	15	4	-5	-11
合計	113	126	95	13	-31

※ ACLI(米国生命保険協会)の「Life Insurance Fact Book」による。なお、報告基準の変更等により、過去年度の数値が事後的に修正されている場合があるが、ここでは入手可能な最新の公表数値に基づいている。例えばオランダとベルギーとの複数国資本企業については、1998年では「その他」に含まれているが、2003年ではそれぞれの国に2分して計上されている(以下、同様)。

米国における外資系生命保険会社の親会社国別分布(総資産)

親会社国	1998年	2003年	2013年	増加幅(ポイント)	
				2003/1998	2013/2003
カナダ	3.3%	6.2%	5.6%	3.0%	-0.6%
オランダ	3.8%	8.0%	6.4%	4.3%	-1.6%
スイス	0.5%	1.2%	0.6%	0.7%	-0.6%
バミューダ	0.0%	0.0%	1.4%	0.0%	1.4%
フランス	3.1%	3.1%	2.7%	0.0%	-0.4%
英国	2.0%	1.8%	2.8%	-0.2%	1.0%
ドイツ	0.6%	0.9%	2.0%	0.3%	1.0%
日本	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.1%
その他	1.2%	0.2%	0.0%	-1.0%	-0.2%
合計	14.2%	21.6%	21.7%	7.4%	0.2%

※ ACLI(米国生命保険協会)の「Life Insurance Fact Book」による。

なお、日本資本の生命保険会社(日本の損害保険会社によるものも含む)のシェアは、2013年時点では0.1%に過ぎないが、上記には反映されていない2014年度以降の買収案件等が実現していった場合には、1.5%~2.0%程度になるものと想定される。

3 | 個別会社・グループの状況

2では親会社国別の分布を見たが、実際には、各国を代表するグローバルに活躍している大手保険グループの米国事業の状況が大きく反映された形になっている。ここでは、個別の保険会社や保険グ

ループの状況を見るために、2013年度ベースでの認容資産ランキングのトップ30を見てみる。

これによれば、個別の保険会社ベースでは外資系会社がトップ30のうちの7社ということになる。グループベースで見ると、外資系グループがトップ30のうち9社を占める形になるが、上位の米国保険グループとの規模の格差はむしろ拡大する傾向にある。

なお、この表にはないが、Symetra Life Group(住友生命買収発表)は27,943百万ドルで38位、Standard Insurance Group(明治安田生命買収発表)は19,384百万ドルで54位となっている。

米国生命保険・健康保険会社 トップ30(2013年度認容資産に基づく) (単位:百万ドル)

順位	会社名	親会社・国	認容資産	順位	会社名	親会社・国	認容資産
1	Metropolitan Life	米国	373,393	16	Transamerica Life	オランダ(Aegon)	115,276
2	Prudential	米国	296,637	17	Pacific Life	米国	109,065
3	Teachers Ins & Annuity	米国	250,494	18	American Family Life	米国	107,913
4	John Hancock	カナダ(Manulife)	239,096	19	Allianz Life	ドイツ(Allianz)	104,723
5	Northwestern Mutual	米国	215,165	20	RiverSource Life	米国(Ameriprise)	104,356
6	Lincoln National	米国	200,018	21	Pruco Life	米国(Prudential)	98,541
7	Massachusetts Mutual	米国	182,776	22	Metlife Investors USA	米国(MetLife)	98,070
8	Jackson National	英国(Prudential)	163,834	23	ING Life	オランダ(ING)	85,670
9	American General Life	米国(AIG)	159,157	24	Prudential Retirement	米国(Prudential)	78,047
10	AXA Equitable Life	フランス(AXA)	158,658	25	Variable Annuity Life	米国(AIG)	77,174
11	Principal Life	米国	143,742	26	Thrivent Financial Lutherans	米国	72,162
12	New York Life	米国	139,198	27	ING USA Annuity & Life	オランダ(ING)	69,266
13	Hartford Life	米国	128,074	28	State Farm Life	米国	60,442
14	Nationwide Life	米国	120,676	29	MetLife Insurance Co of CT	米国(MetLife)	60,275
15	New York Life Ins & Annuity	米国	119,947	30	Kaiser Foundation Health Plan	米国	56,878

※ AM Best社資料による。

米国生命保険・健康保険グループ トップ30(2013年度認容資産に基づく) (単位:百万ドル)

順位	会社名	親会社・国	認容資産	順位	会社名	親会社・国	認容資産
1	Metropolitan Life & Affiliated	米国	585,679	16	Nationwide Mutual Life Group	米国	127,458
2	Prudential of America Group	米国	531,977	17	Pacific Life Group	米国	114,388
3	John Hancock Life Ins Group	カナダ(Manulife)	264,181	18	Ameriprise Financial Group	米国	110,420
4	AIG Life & Retirement Group	米国	263,529	19	Aflac Incorporated Group	米国	108,668
5	Teachers Ins & Annuity Group	米国	258,109	20	Allianz Life Insurance Group	ドイツ(Allianz)	107,297
6	New York Life Group	米国	252,522	21	Thrivent Financial Lutherans G	米国	75,467
7	Northwestern Mutual Group	米国	217,171	22	Genworth Financial Group	米国	66,092
8	Lincoln Financial Group	米国	213,168	23	State Farm Life Group	米国	62,776
9	Aegon USA Group	オランダ(Aegon)	198,490	24	Athene Life Insurance Group	バミューダ(Athene)	62,222
10	MassMutual Financial Group	米国	195,081	25	Guardian Life Group	米国	59,924
11	ING USA Life Group	オランダ(ING)	194,235	26	Great-West Life Group	カナダ(Great-West)	58,427
12	Hartford Life Group	米国	189,499	27	Allstate Financial Companies	米国	57,713
13	Jackson National Group	英国(Prudential)	171,971	28	Protective Life Group	日本(第一)	54,438
14	AXA Financial Group	フランス(AXA)	162,555	29	Sammons Financial Group	米国	52,462
15	Principal Financial Group	米国	143,852	30	Sun Life Assurance Group	米国(Delaware Life)	42,073

※ AM Best社資料による。Sun Life Assurance GroupはカナダのSun Life Financial Groupとは異なっている。

(参考)米国生命保険・健康保険グループ トップ30(2003年度認容資産に基づく) (単位:百万ドル)

順位	会社名	親会社・国	認容資産	順位	会社名	親会社・国	認容資産
1	Metropolitan Life & Affiliated	米国	285,145	16	Lincoln Financial Corp	米国	82,378
2	AIG Life Group	米国	277,820	17	CIGNA Group	米国	75,529
3	Prudential of America Group	米国	244,060	18	GE Financial Assurance Group	米国	75,355
4	Hartford Life Group	米国	168,486	19	Allstate Financial	米国	73,192
5	Aegon USA Inc	オランダ(Aegon)	160,246	20	Manulife Financial	カナダ(Manulife)	62,284
6	Teachers Ins & Annuity Group	米国	154,116	21	American Express Financial	米国	60,803
7	ING Group	オランダ(ING)	145,435	22	Pacific Life Group	米国	60,550
8	New York Life	米国	136,757	23	Sun Life Financial Group	カナダ(Sun Life)	51,406
9	Northwestern Mutual Group	米国	113,822	24	Jackson National Group	英国(Prudential)	51,058
10	Nationwide Life Group	米国	101,868	25	Thrivent Financial Lutherans G	米国	45,297
11	MassMutual Financial Group	米国	96,827	26	Aflac Incorporated Group	米国	41,875
12	Equitable Group	フランス(AXA)	96,312	27	Great-West Life Group	カナダ(Great-West)	38,048
13	Principal Life Insurance Co	米国	90,550	28	State Farm Group	米国	36,096
14	John Hancock Financial Group	カナダ(Manulife)	86,202	29	Guardian Life Group	米国	33,524
15	Citigroup	米国	84,765	30	Allianz Insurance Group	ドイツ(Allianz)	31,385

※ AM Best社資料による。

因みに、10年前の2003年度との比較では、MetLifeとPrudentialの上位2社が合併・買収等の影響もあり、大きく進展している。外資系では、カナダのManulife、英国のPrudential、ドイツのAllianz等がそのランキングを高めている。一方で、オランダのAegonとINGは引き続きトップ10前後に位置しているもののランキングを若干下げている²。

このように、米国市場において、シェアを伸ばしている会社は、必ずしも内部成長によるものではなく、むしろ合併・買収等による拡大が中心になっている傾向が見てとれる、といえる。

3—日本における外資系生命保険会社のプレゼンス

1 | 全体の状況

日本における外国及び外資系生命保険会社のプレゼンスを考える上では、支店形式の外国生命保険会社の位置付けが高いため、以下の表ではこれらの会社も外資系生命保険会社に含める形で取り扱っている。また、日本の場合、そもそも会社数が少ないので、外資系生命保険会社といってもより特定しやすくなるが、比較のため米国と同様の方式でデータをまとめている³。

日本市場における外資系生命保険会社のシェアは、1990年代までは支店形式による保険会社を含めてもそれほど高いものではなかったが、2000年代前半に経営破綻した会社の買収等により、急速にシェアを高めている。その後も銀行窓口販売の解禁等の代理店チャネルの規制緩和等により、シェアを伸ばしてきている。

日本における外資系生命保険会社の状況(会社数)

	1998年	2003年	2013年	増加数	
				2003/1998	2013/2003
生命保険会社	44	41	43	-3	2
外資系生命保険会社	9	16	17	7	1
構成比	20.5%	39.0%	39.5%	—	—

※「Insurance 生命保険統計号」のデータに基づく。

外資系生命保険会社には、支店形式の3社も含めている(以下、同様)。

また、全ての年度にかんぽ生命(簡易生命保険)を加えている(以下、同様)。

日本における外資系生命保険会社の状況(総資産)

(単位:億円)

	1998年	2003年	2013年	増加率		年平均増加率	
				2003/1998	2013/2003	2003/1998	2013/2003
生命保険会社	3,009,343	3,062,419	3,505,826	1.8%	14.5%	0.4%	1.4%
外資系生命保険会社	47,883	229,928	503,086	380.2%	118.8%	36.9%	8.1%
構成比	1.6%	7.5%	14.4%	—	—	—	—
構成比(かんぽ除き)	2.5%	12.5%	19.1%	—	—	—	—

※「Insurance 生命保険統計号」のデータに基づく。

なお、かんぽ生命(簡易生命保険)の1998年の総資産としては、資金運用合計額を使用している。

² CitigroupのTravelers Insurance CompanyはMetLifeに買収されている。CIGNA GroupもConnecticut General Life Insuranceの退職事業の多くを売却したため大きくランキングを下げている。また、GE Financial Assurance GroupはGenworth Financial Group、American Express FinancialはAmeriprise Financial Groupとなっている。

³ 以下の表においては、対象年度における資本状況等を勘案しつつ、例えば以下のように取り扱っている。①ソニーライフ・エイゴン生命については、エイゴンの50%出資会社であるが、外資系会社に含めている。②PCA生命(現在はSBI生命)については、英国プルデンシャルの子会社としている。③1998年ではINAひまわりは米国INAの子会社としている。

2 | 親会社国別の状況

日本市場ではこれまでのところ、第三分野保険市場における過去からの経緯等もあり、総資産で見れば、米国の生命保険会社が外資系生命保険会社の7割超という極めて高いシェアを有している。

日本における外資系生命保険会社の親会社国別分布(会社数)

親会社国	1998年	2003年	2013年	増加率	
				2003/1998	2013/2008
米国	5	8	7	3	-1
フランス	1	3	4	2	1
オランダ	1	1	2	0	1
カナダ	0	1	1	1	0
ドイツ	0	0	1	0	1
英国	0	1	1	1	0
スイス	1	2	1	1	-1
スウェーデン	1	0	0	-1	0
合計	9	16	17	7	1

※「Insurance 生命保険統計号」のデータに基づく。

日本における外資系生命保険会社の親会社国別分布(総資産)

親会社国	1998年	2003年	2013年	増加幅(ポイント)	
				2003/1998	2013/2003
米国	1.5%	5.5%	10.7%	4.0%	5.2%
フランス	0.0%	1.4%	1.9%	1.3%	0.5%
オランダ	0.1%	0.3%	1.0%	0.2%	0.7%
カナダ	0.0%	0.3%	0.6%	0.3%	0.3%
ドイツ	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.1%
英国	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
スイス	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
スウェーデン	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	1.6%	7.5%	14.4%	5.9%	6.8%
(参考)かんぽ除き	2.5%	12.5%	19.1%	10.0%	6.6%

※「Insurance 生命保険統計号」のデータに基づく。

4—欧州における外資系生命保険会社のプレゼンス

1 | 全体の状況

欧州における外資系生命保険会社のプレゼンスを見る上においては、米国や日本との関係では、欧州あるいはEU全体での外資系あるいはEU域外会社の状況を把握できればよいが、データが限定されていることから、ここでは取得可能なデータに基づいて報告する。

まずは、欧州の生命保険市場の進展状況を見てみる。2003年から2013年の10年間で、Insurance Europe⁴加盟の32カ国で、総資産に近似するものとしての投資資産(Investment Portfolio)が約1.6倍に拡大しているが、これは年平均増加率4.9%に相当している。総資産で見た場合の米国と日本の同時期の年平均成長率の数値は、**2、3**の表で示されているようにそれぞれ4.7%と1.4%であることから、欧州の生命保険市場は、過去10年間に於いて米国とほぼレベルの水準で成長してきたことになる。

欧州における生命保険市場の進展状況

(単位: 百万ユーロ)

	2003年	2013年	増加率	年平均増加率
会社数	5,008	5,357	7.0%	0.7%
投資資産(Investment Portfolio)	4,325,558	6,948,333	60.6%	4.9%

※ Insurance Europe「European Insurance in Figures」による。

2 | 欧州主要国における状況

次に、欧州主要国における外資系保険会社のプレゼンスをOECDのデータから見てみる。ここで、会社数は生命保険会社のみを対象にしているが、収入保険料は生命保険・損害保険等合算の数値である。

各国とも外国及び外資系保険会社の構成比が収入保険料で2割~3割程度あるが、ここでの外資系保険会社は、自国以外の欧州各国からの保険会社が殆どである。北米の大手保険会社も、欧州各国に子会社を

⁴ 欧州の保険・再保険協会連盟で、34のメンバーからなり、欧州の収入保険料の約95%を占めている。

有して生命保険事業を展開してはいるが、各国における上位保険会社のシェア等から判断すると、今のところ生命保険市場においては大きなプレゼンスを有していない。

欧州主要国における外資系生命保険会社の状況(会社数)(2013年度)

	ドイツ	フランス	イタリア	スペイン	英国
全体	93	59	58	83	184
国内保険会社	91	59	41	83	183
外資系	17	N.A.	23	10	15
外国保険会社	2	N.A.	17	0	1
外資系等構成比	20.4%	N.A.	69.0%	12.0%	8.7%

※ OECD「Insurance Statistics 2014」による。
「外資系等」とは、外国及び外資系を指している(以下、同様)。

欧州主要国における外資系保険会社の状況(収入保険料(生保・損保等合算))(2013年度) (単位:百万ユーロ)

	ドイツ	フランス	イタリア	スペイン	英国
全体	251,267	207,624	121,345	58,110	217,731
国内保険会社	243,304	207,521	120,973	58,110	215,494
外資系	39,306	N.A.	34,302	12,578	69,361
外国保険会社	7,963	103	373	0	2,237
外資系等構成比	18.8%	N.A.	28.6%	21.6%	32.9%

※ OECD「Insurance Statistics 2014」による。

3 | 親会社国別の状況

親会社国別の状況については、データの制約上、ドイツの収入保険料ベースのみで見てみる。さらには、現時点では2010年、2011年、2012年の3カ年のデータしか公表されておらず、この間の大きな変化も見られないため、2012年のデータのみに基づいて報告する。

ドイツでは、他のEU諸国と同様、EU及びスイス資本の生命保険会社が重要な位置付けを占めており、これらの会社の収入保険料は全体の24.9%を占めている。

なお、下記の数値はあくまでも、ドイツに設立された保険会社のみを対象とした数値であるが、これ以外に、2013年度ベースで、ドイツで支店を設立している会社が20社(EEA(欧州経済地域)⁵から18社、それ以外の国から2社)、(EUのサービス提供の自由に基づいて)外部からのサービス提供により、ドイツで保険契約を獲得しているEEAからの保険会社が、生損保合計で900社程度存在している。こうした形での外国保険会社による収入保険料が、(直近公表ベースの)2011年度の生命保険で、4,888百万ユーロ(収入保険料の5.6%、その内訳:支店設立 2,261百万ユーロ、外部からのサービス提供 2,627百万ユーロ)となっている。

これらを合わせると、外国及び外資系生命保険会社が、収入保険料において3割程度のシェアを占めていることになる。

ドイツにおける外資系生命保険会社の状況(2012年度)(単位:百万ユーロ)

	会社数	収入保険料	構成比
生命保険会社	96	84,082	100.0%
外資系生命保険会社	19	20,834	24.9%
EU	13	16,307	19.4%
イタリア	4	11,368	13.5%
フランス	3	3,522	4.2%
オランダ	3	962	1.1%
スウェーデン	1	423	0.5%
オーストリア	1	19	0.0%
英国	1	13	0.0%
スイス	6	4,528	5.4%
その他	0	0	0.0%
構成比	19.8%	24.9%	

※ GDV(ドイツ保険協会)「Statistical Yearbook of German Insurance 2014」による。

⁵ EU加盟28カ国にスイスを除くEFTA加盟国のアイスランド、リヒテンシュタイン、ノルウェーを加えた31カ国

5—まとめ

以上、米国、日本及びドイツを中心とする欧州における外資系生命保険会社のプレゼンスを見てきた。それぞれの国における過去からの経緯等もあり、外資系生命保険会社のプレゼンスの現状は異なっている。ただし、グローバル化の流れの中で、どの国においても外資系生命保険会社のプレゼンスが着実に高まってきており、収入保険料や資産等の規模で2割程度のシェアを有する形になってきている。

一方で、米国、日本、欧州という枠組みで考えると、これまでのところ、米国市場では欧州系保険グループが、日本市場では米国系保険グループが大きなプレゼンスを有する形になってきているが、日本の生命保険会社・グループは米国、欧州いずれの市場においても有意なプレゼンスを確保できていない状況にある。今回の一連の日本の生命保険会社による米国の生命保険会社買収等により、今後この流れに変化が見られる形になるのか、中長期的な動向が気になるところである。

また、海外市場という意味では、今後はアジアや中南米等の市場が拡大を期待されており、これらの市場への対応がグループ全体の成長確保への鍵になると考えられる。今後はこうした市場も含めた保険会社の海外展開について注視していくこととしたい。

さらに、このレターではあくまでも収入保険料や資産等の規模の面からのプレゼンスの状況を見てきたが、より重要なことは、投下した資本等に対応して高い収益を上げているのか否か、ということである。欧米の大手保険グループの海外展開における収益状況等については、別途報告することとする。

以 上